

令和元年度事業報告

概 要

令和元年度は、5月1日に「平成」から「令和」へ改元され、新たな時代がスタートしました。8月の佐賀豪雨、9月に千葉県を襲った台風15号、10月の19号東日本台風など、昨年同様に災害の多い年となりましたが、幸い大牟田市では大規模な災害はなく、当シルバー人材センターでの就業中の熱中症の発生もありませんでした。昨年末から発生した新型コロナウイルス感染症は、その後、世界中に感染が拡大し、日本では1月中旬に感染者が確認され、3月以降に急増しました。

そのような状況の中、事業実績は、請負事業で収入が増加したのは、7月の参議院選挙を始めとした選挙公報配布や駐車場整理で4,800千円増となりました。収入が減少したのは、植木剪定が3,560千円減、学校管理や世界遺産、駐車場の管理職群で15,000千円減となりました。一方で派遣事業の契約金額は17,123千円で前年度より570千円の減少でしたが、目標の15,000千円に対し、14%増となりました。

最重要課題としている会員の拡大については、ホームページで情報発信、全戸配布のフリーペーパー広告での募集、会員の声掛け運動や同好会活動の増設、仮会員制度の普及等に取り組みましたが、前年度より16人減、目標の654人に対し91%となり、残念ながら目標に達しませんでした。定年65歳が定着しつつあることや、景気の好調、70歳定年の取り組みも進められる中で、会員拡大は厳しい状況となっています。会員不足により、これまで受注出来ていた仕事を断らなければならないなど、今後の会員拡大に向けた取り組みの強化に課題を残しました。

また、傷害事故はバイクの転倒事故での入院を含む8件、賠償事故は昨年度“事故ゼロ”を達成しましたが、刈払い機での石飛事故を含む6件と多発し、さらなる安全対策に向けた取り組みを強化しなければなりません。

年度末には新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月開催を予定していた安全就業促進大会をはじめ、各職群班の全体会議や地域班会議等も感染拡大防止のため、すべて中止としました。独自事業は減少したものの、事業全体は前年度実績を1,520千円上回り、目標の3億円を達成しました。

事業実績

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

1 就業開拓提供等事業

（1）受託事業（一般）

高齢者の就業機会を確保し、高齢者の希望や能力に応じて、グループ就業やローテーション就業などを行い、高齢者に臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会の提供を行いました。

	令和元年度実績	前年度比	計 画
			達成率
会 員 数	5 9 5 人	1 6 人減	6 5 4 人
			9 1 %
就業実人員	5 0 3 人	1 2 人減	5 5 0 人
			9 1 %
就業延人員	8 1, 2 5 8 人日	2, 1 3 2 人増	7 9, 0 0 0 人日
			1 0 3 %
就 業 率	8 9. 6 %	0. 4 ポイント増	9 0 %
			1 0 0 %
事 業 収 入	3 0 4, 3 6 6 千円	3, 5 6 0 千円増	3 0 0, 0 0 0 千円
			1 0 1 %

(主な就業分野)

- 事務（文書作成、受付事務、賞状・宛名書き等の筆耕等）
- 技能（剪定、大工、左官、襖・障子・網戸張替え、刃物砥ぎ等）
- 管理（小・中学校、地区公民館、駐輪場、イベント会場での駐車場整理等）
- 配布（市広報誌、チラシ・フリーペーパー配布等）
- 屋外・屋内作業（屋外・屋内清掃、除草、植木消毒、家財搬出、農作業等）
- 福祉・家事援助サービス（家事手伝い、育児支援等）

(2) 独自事業

地域のニーズに対応するために、独自の創意と工夫により次の事業を実施しました。

○ リサイクル事業

市民から提供された衣類、家具、家電製品、自転車等の再生・販売、また、学校給食や一般家庭の廃てんぷら油を原料とした石けんの製造・販売を行いました。

この事業により、ごみの減量化と資源の有効活用など市民の3R活動を推進しました。

○ 宮原坑ショップ事業

世界遺産宮原坑で、来場者へ地元特産品及び会員手作り品等を販売しました。

○ 生きいきシルバー農園事業

耕作放棄地対策として、休耕地を活用した農産物の生産及び有料市民農園事業を行い、農産物は農園直売所、センターのショップ等で販売しました。

令和元年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	3 0 人	4, 0 0 0 人日	1 2, 0 0 0 千円
実 績	3 0 人	3, 4 6 2 人日	9, 1 2 7 千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

地域の高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲における就業を紹介するとともに、地域事業者の求人等の情報収集及び提供を行いました。

2 労働者派遣事業

地域における人手不足と高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において、労働者派遣事業を実施しました。

令和元年度	就業延人員	契約金額
計 画	5, 0 0 0 人日	1 5, 0 0 0 千円
実 績	5, 6 5 7 人日	1 7, 1 2 3 千円

（主な就業分野）

高齢者施設等の配膳業務、送迎業務、食品包装業務、商品整理等

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

1 普及啓発事業

（1）広報活動

- ① 月2回の入会説明会を開催し、高齢者の生きがい就労や社会参加活動を紹介するとともに、全戸配布の無料情報誌に、センター事業の紹介や会員募集の広告を掲載しました。
- ② 毎月10日の十日市やおおむた道の駅「花ぶらす館」への会員手作り品の出品、7月の夏祭り市民総踊り参加、年間を通し出張販売する「よかもん商店街」への参加、10月開催の「わくわくシルバーフェスタ」、11月の世界遺産宮原坑での「炭鉱の祭典」等で、市民へのセンター事業の普及啓発を行いました。
- ③ 10月の普及啓発促進月間に、市行政及び市議会への支援要請行動を行うとともに、地元新聞社へセンター事業の情報提供やホームページにリアルタイムの求人情報等を掲載し、情報発信を行いました。
- ④ 女性会員の拡大を図るため、女性会員の集い「カメリアの会」を11月に開催し、フラワーアレンジ「プチコーン講習会」を実施するとともに、月2回の会員と一般市民参加の手芸教室の開催、大牟田市エコサンクセンター環境教室での年5回の布ぞうり教室、年2回のちりめんリース作りを実施しました。

（2）社会参加・ボランティア活動

- ① 夏祭り市民総踊り 7月27日（土） 会員及び職員 95人参加
- ② 夏祭り清掃奉仕活動 7月29日（月） 会員及び職員 39人参加
- ③ 市役所剪定奉仕活動 10月 5日（土） 会員及び職員 57人参加
- ④ 高齢者生きがい創造センター剪定・除草奉仕活動
10月12日（土） 会員及び職員 112人参加

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の推進

「安全は全てに優先する」を基本とし、連合会安全就業促進大会への参加、安全・適正就業委員会の開催及び委員の増員、安全パトロールの実施等を行いました。また、職群別定例会では事故事例についての周知、分析を行うとともに、夏場の熱中症予防などの注意喚起を行いました。

今年度の事故発生状況は、傷害事故が8件、賠償事故が6件発生しました。傷害事故では、前年度に続き転倒事故が全体の半数を占めるほか、チェーンソー使用による事故などが発生しました。賠償事故は、前年度事故ゼロを達成しましたが、今年度は刈払機による石飛事故が多発しました。事故の原因を分析し、事故を教訓として再発防止を図ることが必要です。事故の内容は以下のとおりです。

【傷害事故】 8件（前年比－4件）

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
5/15 9:00	男	78	就業中 (裂傷) 6日通院	除草	工場の法面を刈払機で作業中、地面に張られていた金網(非常に古く劣化している)を刈払機で飛ばし、近くを作業していた会員の左腕をかすめ負傷させた。
					(事故原因) 足元の確認が不十分で、刈払機の刃が地面の金網に当たってしまった。
					(再発防止策) 金網の張られている法面は深く切りすぎない。また、万が一に備え、防護メガネを着用する。
5/15 15:00	男	79	就業中 (転倒) 7日通院	広報 配布	広報配布中、通路の段差に躓き、転倒した。
					(事故原因) 足元の確認が不十分であった。
					(再発防止策) 配布に慣れた道でも、足元や周囲の注意を怠らない。
10/16 10:50	男	74	就業中 (切傷) 10日入院 7日通院	剪定	剪定作業でチェーンソーを使用中、隣の会員が手伝おうと横から手を伸ばしたところ、刃が当たり負傷させた。
					(事故原因) チェーンソーを使用している際は近づく危険であると認識はしていたが、注意不足だった。
					(再発防止策) チェーンソーを使用する際は、班全員で声掛けし、周囲の会員は適切な距離を保つ。また、全作業班へチェーンソー保護具を貸与しているため、着用の徹底をする。

10/31 12:30	男	73	就業途上 (転倒) 21日入院 通院中	広報 配布	バイクでの広報配布中、バイクが動かなくなったため、手で押しながら徒歩で帰宅していたところ、バランスを崩し転倒。腕がバイクの下敷きになり、骨折した。
					(事故原因) 残りの広報誌を積んだままバイクを手で押していたため、バランスが悪かった。
					(再発防止策) 足元や自身のバランスに注意しながら歩行する。また、仕事に使用する機材(車両含む)の点検を日頃から行う。
11/13 7:45	女	74	就業中 (転倒) 13日入院	広報 配布	広報配布中、団地内のバンプ(車両を減速させるための凹凸)で躓き、転倒した。
					(事故原因) 足元の安全確認が不十分であった。
					(再発防止策) 少しの段差にも注意を払い、足元の安全確認を徹底する。
12/4 16:00	女	77	就業途上 (転倒) 8日通院	リサイ クル品 再生	就業を終え帰宅する際、シルバー人材センター正門のレールに躓き、転倒した。その際、着用していた防塵メガネが割れ、右まぶたを負傷した。
					(事故原因) 手押し車が正門のレールに引っ掛かり、バランスを崩した。
					(再発防止策) 高齢者の転倒事故が非常に多いことを認識し、足元の安全確認を十分に行う。
2/19 13:00	男	75	就業中 (裂傷) 6日通院	リサイ クル品 再生	照明器具修理の作業中、工具を使用し部品を外そうとした際に手が滑り、部品の金属部分に接触し、指を切った。
					(事故原因) 手が滑ることを考えておらず、無理に力を入れすぎた。
					(再発防止策) 作業時の工具の取扱いには十分注意する。

2/27 7:30	女	70	就業途上 (転倒) 32日入院 通院中	清掃	自転車就業現場へ向かう途中、前から直進してきた自転車を避けようとしたところ、花壇の段差に接触し、転倒した。
					(事故原因) 周囲の安全確認が不十分であった。
					(再発防止策) 狭い道を自転車で通行する際は、一時的に自転車から降りるなどして転倒事故防止に努める。

【賠償事故】 6件（前年比＋6件）

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
6/25 8:15	男	72	就業中 車両リアガラス破損	除草	市営住宅の敷地内を刈払機を使用して除草中、通路部分に駐車していた車両のリアガラスに石が飛び、破損させた。
					(事故原因) 危険と思われる箇所には防護ネットを使用していたが、当該箇所は通路部分を移動しながら刈る作業だったため、防護ネットの使用を怠った。
					(再発防止策) 移動しながらの作業の場合、他の会員に防護ネットを持ってもらうなどして、安全対策を実施する。
7/4 15:15	男	79	就業中 車両リアガラス破損	除草	刈払機を使用して除草中、生垣をすり抜けて石を飛ばし、隣の敷地(駐車場)に駐車してあった車両のリアガラスを破損させた。
					(事故原因) 作業会員は生垣の先が駐車場になっていると把握しておらず、生垣方向に石を飛ばすことが危険だと認識していなかった。
					(再発防止策) 作業現場周辺の状況は作業前に確認しておき、危険箇所には防護ネットを使用する。

8/2 10:40	男	65	就業中 車両フロント ガラス破損	除草	刈払機を使用して除草中、周辺に駐車していた車両に石が飛び、フロントガラスを破損させた。
					(事故原因) 除草範囲付近に駐車されていたため、持ち主に車両の移動を依頼したが、応じてもらえなかった。やむ無く防護板(高さ60cm程度)を使用し作業したが、石が防護板を飛び越えてフロントガラスに当たった。
					(再発防止策) 危険箇所には、高さのある防護ネット(1.8m)を使用する。防護板を使用する場合は、防護板から離れすぎないように注意する。
9/20 10:30	男	73	就業中 給水管破損	除草	刈払機で個人宅を作業中、草の中に隠れていた給水管に刃が当たり、破損させた。
					(事故原因) 作業前に危険予知ミーティングを実施したが、草に隠れていた給水管は把握できなかった。
					(再発防止策) 危険予知ミーティングによる現場確認の徹底や、作業中の足元確認を十分に行う。
11/26 10:20	男	75	就業中 測量機破損	広報 配布	徒歩で広報配布をしている際、道路脇に置かれていた測量機に接触、転倒させ、破損させた。
					(事故原因) 移動中の前方確認が不十分だった。
					(再発防止策) 移動中は足元や前方の確認を十分に行い、自身や周囲の安全を確認する。
12/20	男	83	就業中 床板破損	リサイ クル品 再生	リサイクル提供品として家具の回収依頼を受け、自宅外まで運び出す際に、床に傷をつけた。
					(事故原因) 普段は家具回収の際、床を傷つけないように毛布に包んで移動するが、今回は毛布の代わりにダンボールを使用し、ダンボールからはみ出た箇所が床に接触した。
					(再発防止策) リサイクル品の回収業務をする場合は、必ず毛布を持参し、安全を確保した上で移動する。

(2) 適正就業の推進

発注者との契約については、請負か指揮・命令が発生する派遣事業かの点検・確認を行うとともに、シルバー人材センターの働き方である臨時的かつ短期的又は軽易な就業であるためのローテーション就業及び長期就業の是正に取り組みました。

また、就業不適格会員に対する措置要領に基づき、問題行動の会員への就業停止措置及び注意勧告を行いました。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

就業を希望する地域の高齢者に、毎月2回の入会説明会及び毎月1回の会員登録説明会を行うとともに随時の就業相談に対応しました。

4 研修・講習事業

① 安心・安全講習

新型コロナウイルス感染拡大予防のために、感染症対策のチラシを全会員へ郵送するとともに、感染症対策ポスター掲示を行いました。

② 健康管理講習

夏場の熱中症対策について、職群定例会での注意・啓発や熱中症対策のチラシ掲示を行いました。

③ 接遇講習

利用者の信頼と満足を得るために、会員へのクレームに対する注意及び接遇の指導を行いました。

④ 剪定講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等についての座学研修を実施しました。(開催7回、研修会員11人)

⑤ 除草講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等について、座学及び実技講習を実施しました。(開催3回、研修会員3人)

⑥ 子育て・福祉・家事援助講習会

県連合会主催の会員研修会が、2月13日(木)に福岡市で開催され会員5人と職員1人が参加しました。

⑦ 職員研修会

○九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会の職員研修会が、11月21日(木)～22日(金)に鹿児島市で開催され、全国シルバー人材センター事業協会の講師による研修会に職員1人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

○筑後ブロック会計担当職員研修会が、2月5日(水)に小郡大刀洗広域シルバー人材センターで開催され、県連合会の講師による研修会に職員2人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

○筑後ブロック業務担当職員研修会が、2月21日（金）に柳川市シルバー人材センターで開催され、県連合会の講師による研修会に職員1人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

5 調査研究事業

公益社団法人として会員増対策と経営の安定化を進めるために、福岡県シルバー人材センター連合会からの情報収集及び筑後ブロックでの情報交換を行いました。